

地域相談支援ワークショップ in 神奈川・東京・千葉

午後（13:30～15:30）パネルディスカッション

テーマ：「がん専門相談員として、独居のがん患者を地域で支える」

<趣旨>

近年、核家族化が進み家族の単位も小さくなってきましたが、誰とも同居せず一人で暮らす人が増加していることも、現代の特徴のひとつです。特に、南関東は経済や産業の中心であり、日本全国から人々が移住しているため、一人で暮らす人が多いという現状があります。

一人暮らしの人ががんになると、どのような状況になるのでしょうか。仕事への影響、経済的問題、今後の生活への不安、様々な手続きや介護を行う人の不在、頼れる人がいない不便さや心細さなど、これまでの生活をどう維持し今後の生活をどう立て直すかに関して、介護者が居る家族とは、また違った課題を抱えています。特に、病気が進行し心身が辛い状況のなか、ひとりで生活することは容易ではありません。そのような中で「ひとりでも自分らしく生きること、自分らしく死ぬこと」は可能なのでしょうか。その時、がん専門相談員はどのように関わればいいのでしょうか。

パネルディスカッションでは、神奈川、東京、千葉、それぞれの地域における独居のがん患者の状況やがん専門相談員の関わり、院内や地域におけるチームによる支援など、現状や課題、現在の取り組み、今後必要と思われる事等について、考えることができればと思います。

パネリスト

前田景子氏 北里大学病院ソーシャルワーカー（神奈川県）

宮田佳代子氏 国立がん研究センター中央病院 ソーシャルワーカー（東京都）

佐久間裕子氏 旭中央病院 ソーシャルワーカー（千葉県）

司会

小迫富美恵 氏（横浜市立市民病院）

小糸 亜紀 氏（藤沢市民病院）